

## ☆☆異文化理解をテーマに講演会を開催しませんか？☆☆



### 公益財団法人かめのり財団 王敏・法政大学教授による講演会 開催希望団体を募集

本財団では、アジアの国々との相互理解の促進を目的に、本財団理事である王敏・法政大学教授を講師とした講演会の機会を提供します。

#### 【講演会開催団体の募集について】

1. 《対象団体》 高等学校や大学、地方自治体、国際交流団体など。
2. 《開催条件》 会場の手配、会場の設営(演題、講師名の紙など)、スクリーン・プロジェクター・(パワーポイントが使用可能な)コンピューターの用意ができること。  
講演会開催後、本財団広報誌への講演内容や感想についての寄稿、講演会の様子を撮影した画像の提供が可能なこと。聴講者へのアンケート(感想など)実施が可能なこと。  
原則、50名以上の集客が見込まれることを目安とする。
3. 《開催時期》 平成 29(2017)年 4 月～平成 30(2018)年 3 月
4. 《開催決定》 申し込み順に、開催団体の希望日と王敏教授の日程を調整して決定。  
\*開催団体数に限りがございますので、お断りする場合がございます。
5. 《演題》 「異文化理解の必要性」を主なテーマとし、開催団体の意向を聞き、相談のうえ決定。
6. 《講演時間》 講演 1 時間、質疑 30 分の計 1 時間半を目安とする。
7. 《その他》 講師謝礼、交通費、宿泊費などは財団が負担。王敏教授の著者を若干冊、寄贈。
8. 《申込締切》 平成 29(2017)年 12 月末日。

#### 【王敏(ワン・ミン)氏の紹介】



法政大学国際日本学研究所教授(日中比較研究、日本研究、宮沢賢治研究)  
1954 年、中国河北省承德市生まれ。  
大連外国語大学日本語学部を経て、四川外国語学院大学院で「宮沢賢治」に出会い、日本と日本人にも関心を抱く。文化大革命後、大学教員から選出の国費留学生として来日、宮城教育大学で学ぶ。お茶の水女子大学で人文科学博士号取得。在日 30 年。  
中国優秀翻訳賞(1990 年)、山崎賞(92 年)、岩手日報文学賞賢治賞(97 年)、を受賞。文化庁長官(文化発信部門、09 年)表彰。

おもな著書に『禹王と日本人-「治水神」がつなぐ東アジア』(NHK フックス)、『中国人の「超」歴史発想-食・職・色』(中公新書)、『吉祥ありがた図鑑 幸運をもたらす干支のいわれ』(実業之日本社)、『鏡の国の日本』(勉誠出版)、『美しい日本のこころ』(三和書籍)、『ほんとうは日本に憧れる中国人』(PHP 新書)、『謝々! 宮沢賢治』(河出書房新社)、『中国人の愛国心』(PHP 新書)、など。また、『西遊記』『三国志』『紅樓夢』などの翻訳、ノベライズでも有名。NHK テレビ「視点・論点」、テレビ朝日「徹子の部屋」にも出演。

#### ★ お問い合わせ、申し込み ★

かめのり財団「講演会係」  
〒160-0011 東京都新宿区若葉 1-22 ローヤル若葉 211  
電話：03-3234-1694 (平日 9:30-17:30) Fax：03-3234-1603  
E-mail: info@kamenori.jp <http://www.kamenori.jp/>

## ★☆☆公益財団法人かめのり財団とは☆☆★

本財団は 2006 年 4 月に文部科学省の許可を得て設立し、2011 年 4 月に公益財団法人となりました。財団名は、創設者・康本健守(やすもとけんもり)の父・亀範(かめのり)に由来します。韓国済州島出身の亀範は、1927 年、18 歳で日本に渡り、真摯な努力と誠実な人柄で、ゴム会社や賃貸マンション業を営む共立ビル株式会社を設立し発展させました。

共立ビル(株)を継いだ康守は、人とのつながりを大切にしながら、さらに香港やオーストラリアなど海外へ事業を拡大し発展させる中で、アジア・オセアニア情勢に深い関心を寄せるようになり、中国などアジアに広がる嫌日や、日本人のアジア・オセアニアに対する理解不足が、アジア、ひいては世界の平和・友好に重大な影響を及ぼしかねないと憂慮し、「日本を好きになってほしい、アジア・オセアニアをもっと好きになってほしい」と切望するようになります。そこで、「若い世代こそ自分の生活文化に固執することなく、新しい社会に飛び込んでいく勇気をもってほしい」と願っていた父・亀範の名を冠して当財団を設立しました。

### ★☆☆財団の理念☆☆★

日本とアジア・オセアニアの若い世代の交流を通じて、未来にわたって各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となるグローバル・リーダーの育成をはかります。

### ★☆☆事業目的☆☆★

高校生などの交換留学事業、日本語および日本文化学習の推進、青少年の民間交流助成等を中心に、日本とアジア・オセアニア諸国の若い世代の人々が、異なる文化や思考、生活習慣などをお互いに体験し理解し合うことができるよう、草の根の交流事業を支援します。そして、異文化の人と人をつなぎ、グローバルに活躍できる未来の担い手を育成します。

### ★☆☆おもな事業☆☆★

#### I. 奨学事業

- 高校生交換留学支援
- 大学院留学生支援

#### II. 国際交流事業

- 青少年交流
- 海外日本語教育サポート

#### III. 基盤支援事業

- 講演会・シンポジウム
- かめのり賞

